

# 西光寺だより

第六十号 平成二七年八月一日発行

暑さも本番を迎え、夏祭り真つ盛りの季節となりました。

金魚すくいにりんご飴、くじ引きにかき氷にと縁日は賑わい、人々の熱気に押されて、小さな浴衣に袖を通しワクワクした頃を思い出します。日本人はお祭り好きだと聞いたことがあります、一年を通して全国各地で行われる数は十万とも三十万ともいわれているそうです。本当にすごい数ですね。

こんなにたくさんさんの数あるお祭りですが、もともとは神様を「祭る」という意味で、神様をお迎えし、もてなし、喜んでいただいで、お送りするというのが原点だそうです。ですから、お神輿も神様をお社からお神輿に乗せて、村の中を渡りあるいていただくという意味があります。お祭りはもともと自分たちが楽しむためのものではなく、神様に喜んでいただくために始まったものなのです。日本人の誇るべき国民性を感じられます。また、今ほど科学の発展していない時代においては、農作物の無事と感謝を願うものとして大切な行事だったことでしょう。

仏教において、「神様」という考え方はありませんが、お祭りは日本人の生活に深く結びついたものであると感じます。

現代では祭りの意味合いも変化してきて、楽しむためだけに行われているようにも見受けられますが、お祭りを通じて希薄になってきた人々のつながりを結びつける役割を担っているように思えます。

幼い頃、楽しんだ記憶というものはしっかりと残っているものです。同じように楽しんでくれた大人の笑顔も、お囃子の音色も。そして、この楽しさを次の世代に体感させたいとも。

いつの時代にもお祭りに人々が集まるのは、どの世代も楽しみ繋がりが合うことが出来るからかもしれませんね。

私たちもお念仏で繋がりがあ、子や孫の世代にも「安心」を伝え続けていきたいと思います。

## ◆八・九月の行事◆

八月 十五日 日(土)

盂蘭盆会法要

午後六時 西光寺本堂

九月 月 在家報恩講

※毎月のお遠夜日を報恩講のお飾りでお待ち下さい。(ロウソクは赤)

九月 十七 日(木)

大谷本廟墓参 (みのり講・穂積講の方)

午後二時 大谷本廟お茶所

※なお、墓参の際、念珠・経本・千円を宜しくお願い致します。行かれない方は千円を西光寺又は出席される方におことづけ頂きますようお願い致します。年に一度の皆さんでの大谷本廟墓参、お参り致しましょう。

合掌



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>